

# 平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年11月9日

上場取引所 名

上場会社名 中央紙器工業株式会社

コード番号 3952 URL <http://www.mcpack.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 神谷 兼弘

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役

(氏名) 横井 敬嗣

TEL 052-400-2800

四半期報告書提出予定日 平成22年11月12日

配当支払開始予定日

平成22年12月10日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	6,581	10.8	811	41.9	830	41.4	445	67.3
22年3月期第2四半期	5,941	△13.9	572	14.4	586	10.8	266	△11.7

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	89.64	—
22年3月期第2四半期	53.57	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第2四半期	9,416	7,313	77.7	1,471.41
22年3月期	9,146	6,999	76.5	1,408.21

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 7,313百万円 22年3月期 6,999百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	9.00	—	14.00	23.00
23年3月期	—	16.00	—	—	—
23年3月期 (予想)	—	—	—	17.00	33.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無 有

## 3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,000	4.5	1,400	13.4	1,450	12.3	800	21.2	160.95

(注)当四半期における業績予想の修正有無 有

4. その他（詳細は、【添付資料】P.1「その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 無

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 23年3月期2Q 5,225,008株 22年3月期 5,225,008株

② 期末自己株式数 23年3月期2Q 254,534株 22年3月期 254,534株

③ 期中平均株式数（四半期累計） 23年3月期2Q 4,970,474株 22年3月期2Q 4,970,474株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成22年5月13日に公表いたしました平成23年3月期の連結業績予想数値を修正しております。

2. 本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる場合があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料1ページ「業績予想に関する定性的情報」）をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	1
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	1
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	1
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	1
2. その他の情報	1
(1) 重要な子会社の異動の概要	1
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	1
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	1
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	1
3. 四半期連結財務諸表	2
(1) 四半期連結貸借対照表	2
(2) 四半期連結損益計算書	4
(3) 継続企業の前提に関する注記	5
(4) セグメント情報	5
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	6
4. 決算概要	7

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の当社グループを取巻く事業環境は、期後半の円高の急速な進行はありましたが、中国をはじめとするアジアを中心とした好調な外需及び主要な国内顧客の業績回復を受け、拡大基調で推移いたしました。

このような状況下において、当社グループは、梱包プロセス改善を柱とした営業活動に努めるとともに、原価低減、収益体質改善、CO<sub>2</sub>排出削減活動に積極的に取り組んでまいりました。

これらの結果、売上高65億81百万円（前年同四半期比10.8%増）、営業利益8億11百万円（前年同四半期比41.9%増）、経常利益8億30百万円（前年同四半期比41.4%増）、四半期純利益4億45百万円（前年同四半期比67.3%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

日本は、主要取引先である自動車関連への販売が順調に推移したことにより、売上高54億90百万円、セグメント利益7億22百万円となりました。

中国は、主要取引先である電気・機械関連への販売が順調に推移し、売上高10億91百万円、セグメント利益42百万円となりました。

（注）上記金額には、消費税等は含まれておりません。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

総資産は、前連結会計年度に比べ2億70百万円増加し94億16百万円となりました。これは主に現金及び預金の増加等によるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ43百万円減少し21億2百万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末に比べ3億14百万円増加し73億13百万円となりました。これは主に利益剰余金の増加等によるものです。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績予想につきましては、本日（平成22年11月9日）公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

### (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益が243千円及び税金等調整前四半期純利益は、46,944千円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は46,701千円であります。

### (4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,316,366	2,876,077
受取手形及び売掛金	2,728,839	2,766,452
商品及び製品	123,419	124,617
仕掛品	13,246	14,624
原材料及び貯蔵品	39,248	33,627
その他	108,108	89,879
貸倒引当金	△233	△376
流動資産合計	6,328,995	5,904,901
固定資産		
有形固定資産	2,202,878	2,295,521
無形固定資産	16,220	17,785
投資その他の資産	868,189	927,809
固定資産合計	3,087,288	3,241,116
資産合計	9,416,283	9,146,018
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,014,963	1,000,745
未払法人税等	323,857	326,209
賞与引当金	107,244	96,353
役員賞与引当金	11,180	29,650
その他	192,027	252,516
流動負債合計	1,649,271	1,705,474
固定負債		
退職給付引当金	357,029	341,363
役員退職慰労引当金	48,400	97,800
その他	47,970	1,898
固定負債合計	453,400	441,061
負債合計	2,102,672	2,146,535

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,077,895	1,077,895
資本剰余金	980,562	980,562
利益剰余金	5,377,877	5,001,907
自己株式	△68,365	△68,365
株主資本合計	7,367,968	6,991,998
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	89,843	135,024
為替換算調整勘定	△144,200	△127,539
評価・換算差額等合計	△54,357	7,484
純資産合計	7,313,611	6,999,483
負債純資産合計	9,416,283	9,146,018

(2) 四半期連結損益計算書  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
売上高	5,941,348	6,581,859
売上原価	4,429,379	4,824,057
売上総利益	1,511,969	1,757,801
販売費及び一般管理費	939,947	946,061
営業利益	572,021	811,740
営業外収益		
受取利息	525	505
受取配当金	6,077	8,002
仕入割引	9,804	8,871
その他	10,179	10,307
営業外収益合計	26,587	27,686
営業外費用		
持分法による投資損失	3,509	2,551
為替差損	7,173	5,980
その他	1,019	882
営業外費用合計	11,703	9,413
経常利益	586,905	830,012
特別利益		
貸倒引当金戻入額	—	598
役員退職慰労引当金戻入額	2,690	—
その他	220	—
特別利益合計	2,910	598
特別損失		
固定資産除却損	2,806	7,529
投資有価証券評価損	52,339	15,132
賃貸借契約解約損	56,217	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	46,701
その他	—	1,500
特別損失合計	111,362	70,862
税金等調整前四半期純利益	478,452	759,748
法人税、住民税及び事業税	193,487	326,732
法人税等調整額	18,687	△12,540
法人税等合計	212,175	314,191
少数株主損益調整前四半期純利益	—	445,556
四半期純利益	266,277	445,556

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、段ボール製品を中心とした各種包装材の製造販売を行っており、国内においては当社が、海外においては子会社である香港中央紙器工業有限公司（中国（香港））が担当しております。現地法人は、独立した経営単位であり、取扱い製品については包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は、生産・販売体制を基礎とした地域別のセグメントから構成されており、「日本」「中国」の2つを報告セグメントとしております。各報告セグメントでは、主として段ボール製品のほか、化成品等の包装材を製造販売しております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第2四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年9月30日）

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期 連結損益 計算書計上額 (注) 2
	日本	中国	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,490,378	1,091,480	6,581,859	—	6,581,859
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,490,378	1,091,480	6,581,859	—	6,581,859
セグメント利益	722,786	42,655	765,441	46,298	811,740

(注) 1. セグメント利益の調整額46,298千円には、セグメント間取引消去55,442千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。



(参考情報)

前第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)

前第2四半期連結累計期間の所在地別セグメント情報を、新たな報告セグメントに組み替えた場合は、以下のとおりであります。

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期 連結損益 計算書計上額 (注) 2
	日本	中国	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,112,917	828,430	5,941,348	—	5,941,348
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,112,917	828,430	5,941,348	—	5,941,348
セグメント利益	484,416	49,559	533,975	38,046	572,021

(注) 1. セグメント利益の調整額38,046千円には、セグメント間取引消去41,591千円が含まれておりません。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

# 平成23年3月期 第2四半期 決算概要

## 1. 連結業績

(単位:百万円)

	当第2四半期 (22.4.1~22.9.30) (第60期)		前年同四半期 (21.4.1~21.9.30) (第59期)		増減額	
		百分比		百分比		増減率
売上高	6,581	100.0%	5,941	100.0%	640	10.8%
営業利益	811	12.3%	572	9.6%	239	41.9%
経常利益	830	12.6%	586	9.9%	243	41.4%
四半期純利益	445	6.8%	266	4.5%	179	67.3%
1株当たり 四半期純利益	89.64 円		53.57 円		36.07 円	

連結決算対象会社

- ・子会社 4社 (中央興産株式会社、中央コンテ株式会社、  
香港中央紙器工業有限公司、CHUOH PACK(MALAYSIA)SDN. BHD.)
- ・持分法適用会社 2社 (MC PACK(MALAYSIA)SDN. BHD.、宏冠實業(香港)有限公司)
- ・売上高の連単倍率 1.2 倍

・業種別販売状況

(単位:百万円)

	当第2四半期 (22.4.1~22.9.30)		前年同四半期 (21.4.1~21.9.30)		増減額	
		構成比		構成比		増減率
自動車関係	3,952	60.1%	3,712	62.5%	239	6.5%
電気機械関係	2,045	31.1%	1,690	28.5%	354	21.0%
食品関係	160	2.4%	170	2.9%	△9	△5.5%
その他	423	6.4%	367	6.2%	55	15.0%
合計	6,581	100.0%	5,941	100.0%	640	10.8%

・品目別販売状況

(単位:百万円)

	当第2四半期 (22.4.1~22.9.30)		前年同四半期 (21.4.1~21.9.30)		増減額	
		構成比		構成比		増減率
段ボール製品	4,915	74.7%	4,555	76.7%	359	7.9%
(段ボールケースほか)	(4,685)	(71.2%)	(4,399)	(74.0%)	(286)	(6.5%)
(三層段ボールケースほか)	(229)	(3.5%)	(156)	(2.6%)	(72)	(46.5%)
その他(化成品ほか)	1,666	25.3%	1,385	23.3%	281	20.3%
合計	6,581	100.0%	5,941	100.0%	640	10.8%

《増益要因：対前期営業利益》

増益要因 . . . . . 423 百万円

- ① 売上増による利益獲得
- ② 収益改善(生産効率向上・物流改善等)

減益要因 . . . . . △184 百万円

- ① 製品価格変動の影響
- ② 固定費の増

営業利益 239 百万円の増

## 2. 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
平成23年3月期 第2四半期	百万円 9,416	百万円 7,313	% 77.7	円 1,471.41
平成22年3月期	9,146	6,999	76.5	1,408.21

### 3. 配当の状況

	1株当たり配当金			配当金総額 (年間) 百万円	配当性向 (連結) %	純資産配当率 (連結) %
	第2四半期末 円 銭	期末 円 銭	年間 円 銭			
平成23年3月期 (予想)	16.00	17.00	33.00		20.5	
平成22年3月期	9.00	14.00	23.00	114	17.3	1.7

### 4. 通期連結業績予想

(単位:百万円)

	通期予想 (平成23年3月期)		前期 (平成22年3月期)		増減額	
		百分比		百分比		増減率
売上高	13,000	100.0%	12,435	100.0%	564	4.5%
営業利益	1,400	10.8%	1,234	9.9%	165	13.4%
経常利益	1,450	11.2%	1,291	10.4%	158	12.3%
当期純利益	800	6.2%	660	5.3%	139	21.2%
1株当たり 当期純利益	160.95 円		132.80 円		28.15 円	

・業種別販売予想

(単位:百万円)

	通期予想 (平成23年3月期)		前期 (平成22年3月期)		増減額	
		構成比		構成比		増減率
自動車関係	7,769	59.8%	7,654	61.6%	115	1.5%
電気機械関係	4,020	30.9%	3,579	28.8%	441	12.3%
食品関係	400	3.1%	420	3.4%	△20	△4.8%
その他	811	6.2%	779	6.3%	32	4.1%
合計	13,000	100.0%	12,435	100.0%	565	4.5%

### 5. 重点取組事項

(1) 売上の拡大 (増販・新規)

- ① 新規顧客獲得の取組み強化
- ② スピード感を持った梱包プロセス革新提案の継続
- ③ キャップシート品の拡販 (段ボールとの複合化した製品の提案等)

(2) 段ボール・キャップシートの生産性向上

- ① 品質の向上・段取時間短縮等による製造原価低減活動
- ② 老朽化設備の更新
- ③ 多能工化を通じた生産人員の柔軟な配置
- ④ 在庫削減と物流体制のスリム化

(3) 中国等 海外既存拠点の充実

- ・商品開発機能の充実等

(4) 良品条件づくりを通じた安全な職場づくりの推進